

大項目	図形
小項目	図形を描く・作る
タイトル	立体パズル
目的 身につけてほしい力	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の特徴を理解することができる ・空間認知力を育む（空間における位置関係が把握できる）
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>木のブロックを児童生徒が組み立てることで、空間認知力や想像力が高まることを期待できる。また、児童生徒がブロックを自由に接着させることで、分解・組立ての筋道をもって学習に取り組むことができる。</p> <p>【準備するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木のブロック 4セット （100円ショップにて、8個入り） ・木工用ボンド <p>【作り方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦・横・奥行き、それぞれ3個ずつとなるよう積み重ねる（図1） ・3個～4個のブロックを木工用ボンドで接着させていく（図2）
教材の使用方法	<p>①できあがった立方体（$3 \times 3 \times 3$）の状態（図1）で、指導者は「完成はこのような立方体になります」と、提示する。</p> <p>②目の前で崩す。</p> <p>③組み立てる。 *時間を計測しておいてもよい。</p> <p>④完成させた児童生徒は、違う組み合わせパターンのパズルに挑戦する</p> <p>* * 難しい児童生徒は、立体の状態（図1）から一つひとつパーツを崩すことから始める。その後、組み立てていく。</p>
その他	<p>【使用後の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短時間集中する力がついてきていると感じた。 ・ブロックを返したり組み合わせたりを自分で考え、何度も繰り返していた。 ・日常生活や身の回りのもののなかで、形を発見・意識するようになった。周囲のものに目を向けられるようになった。

